

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

# 法人会だより

2023年  
春

公益社団法人 沖縄北部法人会 広報委員会

名護市宇茂佐の森5-2-7 電話 (0980) 54-3120/FAX (0980) 50-9053

MAIL [info@okihokuhoujin.com](mailto:info@okihokuhoujin.com) URL<http://www.okihokuhoujin.com>

No.25

## 会員親睦交流会4年ぶりに開催！



令和5年3月17日（金）、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、法人会会員親睦パークゴルフ大会及び交流会が、宜野座村「かなパークゴルフ場」「道の駅ぎのぞ」において4年ぶりに開催された。

当日は、厚生委員会主管のもと、参加者の皆様のご協力ですmoothに運営ができ参加者同士親睦を深めながら、盛況に終えることができた。



優勝 港川 保 氏



**【消費税インボイス制度研修会】**

日時：令和5年3月22日（水）14:00~16:00  
 場所：北部会館 3階会議室  
 講師：名護税務署法人統括官 吳屋克朋 氏



**【ハラスメント対策セミナー】**

日時：令和5年2月16日（木）14:00~16:00  
 場所：北部会館 3階会議室  
 講師：社労士 前里 久誌 氏



**【税務調査対策事例研修会】**

日時：令和5年1月19日（木）14:00~16:00  
 場所：北部会館 3階会議室  
 講師：税理士 西村 裕子 氏



**第5支部（本部町・伊江村）新春講演会・交流会**

日時：令和5年2月7日（火）18:30~  
 場所：お食事処 やまちゃん  
 テーマ：「ゆんたくひろみのゆんたくタイム」  
 講師：漫談師 読沢ひろみ（ゆんたくひろみ）氏



**【会社取引をめぐる税務研修会】**

日時：令和5年3月23日（木）14:00~16:00  
 場所：北部会館 3階会議室  
 講師：税理士 首藤 剛 氏



**女性部会**

沖法連女性部会連絡協議会では、税金は毎日の生活の中で役立っているかということを知り、小学生の皆さんに知って頂き、理解と関心を深めて頂くために「税に関する絵はがきコンクール」を実施しています。

令和4年度は、沖縄県内の2,826作品/87校のうち、優れた31作品が寄せられ、厳正な審査の結果、4作品がみごとに入賞しましたのでご紹介します。



**「フードバンク第3弾」名護市、宜野座村、恩納村の社会福祉協議会へ寄贈！**

地域社会貢献活動の予算を活用してお米券、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、洗剤等を購入し、女性部会が実施しているフードバンク活動で会員企業から寄付された食料品等とあわせて寄贈した。



名護市社会福祉協議会 (R5.3.14)



宜野座村社会福祉協議会 (R5.3.16)



表彰伝達式（屋部小校長室R5.2.20）  
 沖縄県法人会連合会 女連協会長賞  
 宮坂采花 殿



恩納村社会福祉協議会 (R5.3.16)

# 進化するAIの不安と期待

ジャーナリスト 海部隆太郎

子どもの頃（1970年頃）に見たテレビ番組「スパイ大作戦」で、作員がチェスのプロを相手に勝利する場面を思い出した。眼鏡に仕込んだカメラでプロの手を別室にいる人物に見せ、真空管の大型コンピューターが次の一手を考え、イヤホンで伝えるという手法だった。実現不可能なことに挑戦する爽快さが面白い番組だが、現在は将棋の対局などで普通に見られるようになった。

ここ数年、記者仲間だった友人たちとの会話は、健康と年金の話ばかり。もっと違う話題があるはずだと思いつつも常に話が盛り上がり、多くの時間を費やしても飽きることがなかった。ところが最近、高品質な文章を生成するチャットGPTが、健康よりも年金のことよりもわれわれの関心を引きつけている。

現状では信頼に足るほどAI（人工知能）の能力は高くないという見方ができるものの、進歩の速さには驚く。われわれ程度の記者の能力はすぐに追い越されてしまうに違いない。編集者が望む原稿をチャットGPTに指示すれば、あっという間に欲しい文章が完成する。こうなれば文字をなりわいにする輩は不要になるのは必定だ。遠くない将来にやってくるのか、不安は危機意識に変わっている。

## 人類とAIの共存をどう図るか

チャットGPTはネット上の情報を吸い上げて文章を作り上げる。正しい情報も間違った情報も混在する中から、与えられたテーマに沿う内容を上手に構成するのだが危険性は拭えない。そこにある情報は、多くの人たちが創り上げた文章であり著作権にも触れるはず。こんな議論は、すでに盛んに行われている。欧州ではAIを規制する動きがあり、米国でも一時的に開発を止め、法制度を整備したうえで再開すべきだという流れが出てきている。

われわれの議論で最も危惧したのは、AIが人間の特権である創造性をも手に入れること。自ら考え最適な行動を指示するようになれば、映画のターミネーターが一気に現実化する。人々が考え議論し結論を導き出すのではなく、AIが瞬時に結論を導き出すのは認めがたい。こうなるとAIへの不安が増幅する。

だからこそAIが社会を豊かにするツールとして進化することに期待したい。そのためには条件を設けることが不可欠と思う。いずれは人類とAIの共存を考える時が来ることは覚悟している。それでも万が一にもAIに行動を指示されるのだけはゴメンだ。今でさえ人に行動を指示されたり、強要されたりすることを極端に嫌う私にとって、AIからの指示など受け入れられはしない。

唯一、許されるのは妻からの指示。これだけは逆らえない。



【筆者紹介】海部隆太郎（かいべ・りゅうたろう）法政大学卒。日本工業新聞社、IT企業を経てフリー。中小企業を中心に企業が抱える幅広い課題の取材・執筆活動を展開する。

夏のイベントが帰ってきた！

フリーランスライター 藤木順平

さしものコロナ禍も収まりつつあり、感染症法の扱いも2類から5類に移行。それに伴い、イベントなどの規制も撤廃されて、マスク着用を呼び掛けられるものの、ほぼ従来と変わらない様子となる。まずはめでたい！

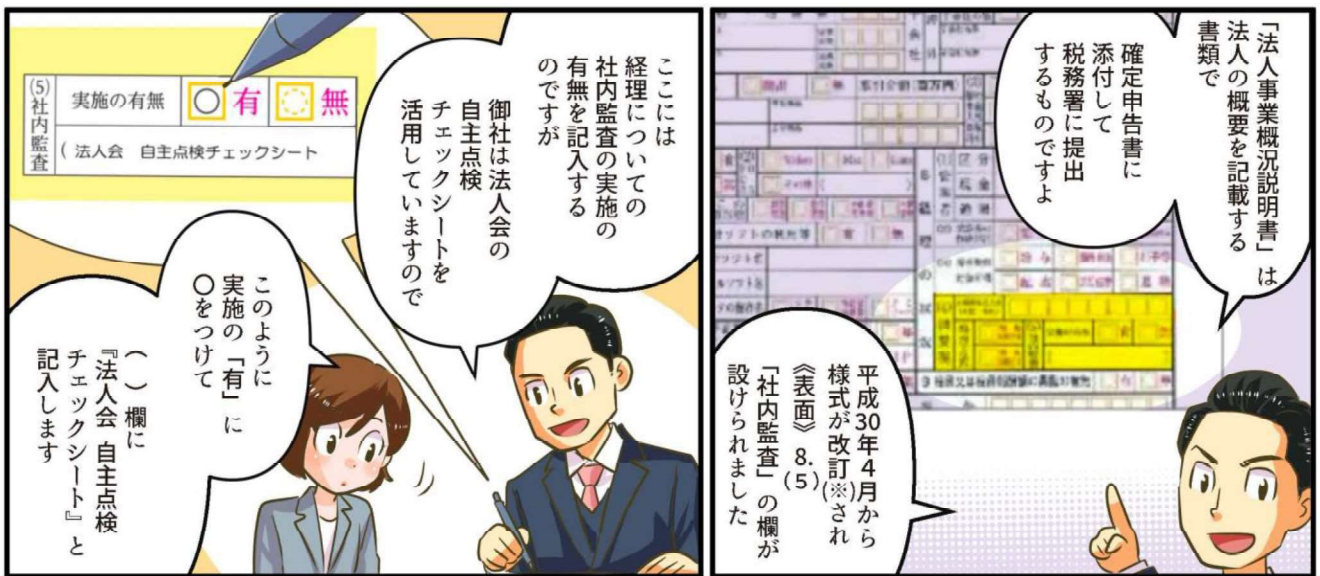
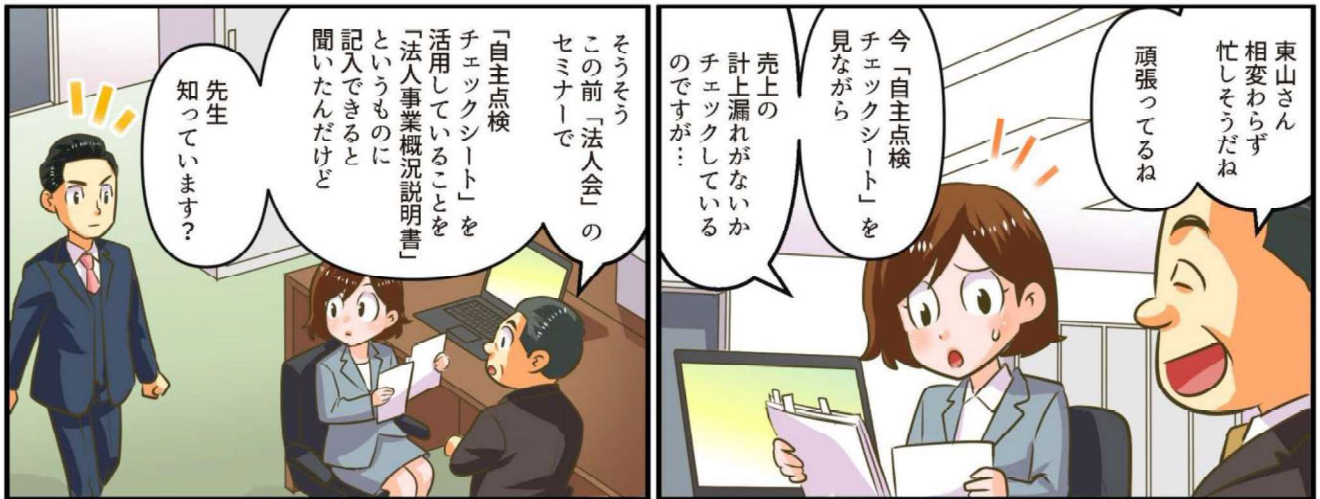
東京隅田川の花火大会も4年ぶりに開かれるようだ。そのほか、多くの夏の風物詩が帰ってくる。その西の代表格は「祇園祭」だろう。これは昨年からの復活した。

「祇園」といえば、『平家物語』の書き出しが「祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり」なのだ。が、ちなみに、モノの本によるとインドはコーサラ国の首都に建てられた祇園精舎には、「鐘」がなかったそう。おそらく諸行無常の響きもなかったに違いない。

同物語の原文から離れるが、書き出しの後段に「おごる平家は久しからず」とある。屋島の戦い。源氏方の那須与一は平家が「やってみる」と挑発した扇の要を矢で打ち抜き、あまりの見事さに両軍うちそろってやんやの喝采。平家の大将宗盛も踊り出す。これが世にいう「踊る（おごる）平家は久しからず」。平家没落の顛末である。信じちゃいけない！ 落語「源平盛衰記」の下げ（落ち）だから…。



【筆者紹介】藤木順平（ふじき・じゅんぺい）フリーランスライター。日本笑ひ学会会員。



※平成30年4月1日以後終了事業年度分より「法人事業概況説明書」の様式が改訂されております。